



5月臨時議会が開かれました 日本共産党議員団の新しい所属が決まりました

5月11日（金）及び14日（月）の両日、市議会5月臨時会が開催され、議長、副議長、各常任委員会の新しい委員構成が決まりました。

議長は、昨年度に引き続き、牧野圭佑議員（江南クラブ）副議長は、山登志浩議員（リフォームの会）を選出しました。

党市議団の所属委員会等は以下のとおりです。

森ケイ子議員・・・

- 厚生文教常任委員会
- 議会広報編集特別委員会
- 江南丹羽環境管理組合議会議員
- 議員政治倫理審査会
- サンライフ江南エリア運営連絡協議会

東 義喜議員・・・

- 総務常任委員会
- 議会改革特別委員会（委員長）
- 都市計画審議会
- 空家対策協議会

掛布まち子議員・・・

- 建設産業常任委員会
- 議会運営委員会
- ICT推進委員会
- 総合計画審議会
- 行政改革推進委員会



給食センターの統廃合、民営化、保育園給食もセンターから？

子どもたちの大事な給食。しっかり考え、意見を出しましょう

。江南市は、3月に発表したリノベーションビジョン（第8次行政改革大綱）で、45項目にわたり行政改革を行うとしています。

この中に「学校給食センター運営業務の民間委託」があります。

併せて「公共施設再配置計画」でも、給食センターの老朽化に伴う統廃合《現在の南部・北部2つの学校給食センターを一つのセンターへ集約し、大規模化（9000食）する》と、民間活力の導入が明記され、民間委託・民営化ありきの計画となっています。

これを受けて当初予算で、948万9千円の委託費を組み、公募委員を含む「基本計画策定委員会」を発足させ、今後3年間で、提言をまとめることとなります。

この基本計画では、アレルギー対

応食など必要な内容も盛り込まれていますが、同時に「学校給食センター統廃合案の検討」や「保育園への給食配食導入可能性の検討」なども盛り込まれています。市立保育園の給食も学校給食センターに統合し、配食する計画が進行しようとしています。

乳幼児の給食は、手作りおやつや離乳食をはじめ年齢に合った調理、行事に合わせたメニュー、給食時間の調節など、きめ細かな対応が必要です。自園調理は欠かせません。保育園給食のセンター化などとてもないことです。

策定委員会だけに任せるのではなく、保護者や市民みんなが子供たちの給食はどうしたらよいか、しっかり意見を出し合い良いものにしていきましょう



旧市民体育館の解体工事に 1億6000万円！

新スポーツセンターが5月1日よりオープンしました。建設費は30億円余ですが、これだけでは収まりません。

5月議会では、旧体育館の取り壊し工事の契約案件が議案として提出されました。請負額は、

1億6092万円です。

さらに6月議会には、スポーツセンター外構工事（予算2億円）やグラウンドやテニスコートの復旧工事（約2千万円）などの契約案件が提案される予定です。総額40億円にもなる新体育館。多くの市民に利用してほしいと思いますが、利用料が高すぎるとの声も多くあります